

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第 1285 号	氏名	石井 玲子
論文審査担当者		主査教授	山下 俊一
		副査教授	永山 雄二
		副査教授	宮崎 泰司
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、バセドウ病のプロピルチオウラシル（PTU）治療により血清中の抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体（MPO-ANCA）陽性患者の予後を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>臨床標本を用いた後ろ向き調査研究であり、長期自然経過とその臨床的意義を検討した研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>本研究では PTU 特異的に MPO-ANCA 陽性頻度の増加が確認されたものの、PTU 中止後の MPO-ANCA 持続陽性と新たな血管炎発症との関連性は低いことが示唆され、今後の臨床疫学的研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は PTU 治療によるバセドウ病 MPO-ANCA の臨床的意義の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			